

## 農政功績者表彰受賞者の概要

県 名	氏 名	内 容
福 井 県 大 野 市	農事組合法人 アバンセ乾側 代表理事 西川 文人	<p><b>&lt;経営概況&gt;</b></p> <p>(1) 経営面積 298.44ha (内訳) 水稻 225.16ha、大麦 34.68ha、ソバ 35.0ha、里芋 2.0ha、白ネギ 1.0ha、キャベツ 0.6ha</p> <p>(2) 経営の特徴</p> <p>①平成 12 年 6 月、複数の集落による農事組合法人として設立。現在は、9 集落、265ha が受益地となっており、福井県内トップの大規模経営体。</p> <p>②各集落から 1 名理事を選出し、2 か月に 1 回の理事会で経営や作業方針等を協議し、円滑な運営を行っている。</p> <p><b>&lt;主な業績&gt;</b></p> <p>(1) 地域農業における役割と貢献</p> <p>①機械による農作業は法人が行い、そのオペレーターは登録された組合員が担う。また、採種圃場の管理（水、除草、畦畔草刈、異常株抜き取り等）は圃場管理者（地主等の組合員）が行っており、集落住民が役割分担しながら農業に携わる形態をとることで、地域農業を支える体制を構築している。</p> <p>②経営の柱となっている水稻種子は、福井県生産量の約 2／3 を占め、もち麦種子の生産も積極的に行っている。県が年 3 回行う種子圃場審査には、圃場管理者全員が参加し、種子品質の向上に貢献。</p> <p>(2) 複合経営の実現と地域活性化への貢献</p> <p>①里芋や白ネギを導入し、経営の複合化を実現するとともに、地域の雇用拡大にも貢献。</p> <p>②令和 5 年度、里芋調整作業の省力化を目的に株割機の開発実証・導入を進めており、地域内への波及が期待される。</p> <p>(3) その他</p> <p>①令和 2 年 12 月に J G A P 認証を取得。</p> <p>②地域住民へ感謝の意を込め、「感謝祭」を年 1 回開催。地域住民の農業への理解醸成につながっている。</p> <p><b>&lt;主な受賞歴&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H14 年 全国農業コンクール優秀賞（毎日新聞社）</li> <li>・H20 年 福井県農林漁業賞農林漁業経営者部門</li> <li>・R 4 年 全国優良経営体表彰経営改善部門 全国担い手育成総合支援協議会会長賞</li> </ul>



西川代表理事